

Topics of the month

十八親和銀行野球部、 長崎県軟式野球選手権でV6を達成!

第71回長崎県軟式野球選手権大会が2021年10月16日～11月7日、諫早市第1野球場などで行われ、十八親和銀行が6年連続30度目の優勝を飾りました。

長崎県内の18チームがトーナメント方式で競い合い、天皇賜杯全国大会に出場してシード権を獲得していた十八親和銀行は、決勝戦で三菱重工長崎と対戦し7対1で勝利。歴代最長の6年連続30度目の優勝となりました。

決勝戦で対戦した三菱重工長崎はこの試合をもって休部することを表明。これまで切磋琢磨し合い、ともに長崎県の頂点を競い合ったライバルを相手に、お互いのチームが全力を尽くしたプレーを披露しました。

この決勝戦は、十八親和銀行にとっても内山監督、岡部投手の引退試合となり有終の美を飾りました。今後も選手全員で長崎県の軟式野球界を盛り上げ、十八親和銀行の魅力を発信するため全力を尽くしてまいります。



▲大会最長タイ記録となる6連覇を果たした十八親和銀行野球部メンバー